



コロナ禍の今だからこそ、できたことのふり返りを！

コロナウィルスが猛威をふるった1年間も、残すところ10日ほどの登校で終了となります。授業参観、社会見学、修学旅行、そして、運動会。すべて無事終了することができました。これも、保護者の皆様のご理解ご協力のお陰であると深く感謝しております。

12月3日には、文部科学省が全国の学校が本格的に再開した6月1日から11月25日までの新型コロナウイルス感染状況を分析して以下のような内容を発表しました。

校種	感染者数	家庭内感染	学校内感染	学校・家庭以外	感染経路不明
小学生	1,252人	73%	6%	11%	10%
中学生	782人	64%	10%	8%	18%

- ・小中高校の児童生徒全体の感染経路は、家庭内感染が55%と最も多かった。小学生に限定すると、73%が「家庭内感染」であった。
- ・「学校内感染」は、小学生で6%、中学生で10%であった。
- ・「家庭内感染」が大部分であることを踏まえれば、学びの保障や心身への影響の観点から、地域一斉の臨時休業は、避けるべきである。 <文部科学省>

今年1年、新型コロナウイルスにかかわって“心ない発言・常識を欠いた言動”等が大きな社会問題となりました。不安を煽る情報も世の中にあふれました。子どもたちには、こういった世相や風潮に染まることなく、未来に希望をもって大きく伸びやかに育ってほしいと願っています。

今、学校では、子どもたちに対し2学期の自分自身、今年の自分自身をふり返し、自分自身の成長を確認しあうよう、指導しているところです。保護者の皆様といっしょになって、子どもたちのよさ、頑張り等を評価していきたいと考えています。

◆◆◆ お願い & 連絡 ◆◆◆

○欠席連絡のときは、必ず体温についてお知らせください。

- ・「体調不良」とだけ言われる方がみえます。必ず体温もお知らせください。
- ・ご家族の発熱状況も聞かせてもらいたいです。

○窓をしっかりと開けています。寒さが本格化します。上着が必要です。

- ・窓や出入り口の戸を常にあけてあります。上着を持たせてください。

○12月14日、15日、16日は、ノーメディアデーを実施します！

生活つづい方 ~6年生のつづり方から~

□「誕生日」

もうすぐお母さんの誕生日。「あっ。もう誕生日か」と思った。「何か買ってあげやなあ」と思い、洗濯もの、ふろ掃除、さら洗い・・・いろいろやって「お金、たまるかな」と思っていた。少し前までは「あと1週間か」となっていたけど、今は「あっ。やばい。何にも買えやんかも」と思っていた。もし誕生日当日に「何も買えやんだ」と言ったら、絶対ショックだと自分は思った。そこで、「何も買えやん」「絶対ショックだ」という不安が出てきた。だけど、「自分から」ということが大切だから、連絡帳に「手伝い」と書いた。「これなら、絶対忘れやん」と思った。だから、今日もこれからも続けていってお母さんに「ありがとう」だけでいいから伝えて、手伝いをしていきたい。

□「幸せホルモン」

私は、夜、録画してある「ホンマデッカ」を見ていた。ホンマデッカは、私は見ないけど、おすすめだとお父さんに言われたので見ていた。私は、正直「面白くないやろう」「ただベラベラしゃべっているだけやろ」と思っていた。けど、見たら「勉強になる」と思った。一番「なるほど」と思ってマネしたいと思ったのは、バスに座っている人が席をゆずると、ゆずられる人に幸せホルモンが出ると言っていた。自分からゆずって自分もみんなも幸せホルモンを出したいと思った。

□「運動会」

11月28日に運動会があった。私は「小学校最後の運動会だから係の仕事とかをちゃんとしよう」と思っていた。それで、本番の開会式のあとに準備の仕事で入場門に行った。すると「私、これを持っていくから、Aこれ持って行って！」などの声かけがあった。そうすることによって係りの仕事がスムーズにできた。次が6年生の順番で、その時、私は別の仕事をしていた。すると、Bさんが「ここで、体操しよう」と声をかけていた。自分も「なあ、これ手伝って！」と声をかけることができた。最高学年らしくすることができたのでよかったです。

◎◎ 表彰伝達 ◎◎

■税に関する絵はがきコンクール

〔法人会賞〕6年C組 山北真央 〔銅賞〕6年A組 小林侑生・6年A組 村松涼音

■防火ポスター

〔入選〕4年A組 小山宗大

■読書感想文コンクール

〔鈴鹿市最優秀賞・県優良賞〕6年C組 塩原 怜